

2015年度 リー・カムシン氏 ピアノ特別講義①

1. 日 時 : 2015年10月26日(月)10時45分～19時00分
2. 場 所 : A号館424教室
3. 対象学生【必修】 : 公開レッスン受講生 学内のみ他聴講可
4. 講師紹介 : リー・カムシン Lee Kum-Sing

30年以上に渡り、リー・カムシンは北米、ヨーロッパ、アジア及びオーストラリアでピアニストとして、またデュオや室内楽演奏者として高い評価を得てきた。

ピアノ芸術の"グランド・マナー"、"鍵盤の詩人"、またバルトークの演奏解釈には"真のハンガリー人のディクションとテンペラメント"との賛辞が贈られた。

リー・カムシンは、ベルリンでゲルハルト・ブシェルトに、パリでジュリアス・カッチェン及びマグダ・タリアフェロに学ぶ。ソロ活動、オーケストラ共演のキャリアは、1953年シンガポールを皮切りに、NYカーネギーホールへのデビュー(1963年)、ロンドン・ウィグモアホールへのデビュー(1969年)と続く。チャーリィ・リンやアルフレード・カンポーリ、リヴカ・ゴラーニ、キム・ボルグといったアーティストたちと共演。リーの演奏は、BBC、CBC、アジア、オーストラリアやヨーロッパのラジオやテレビで放映された。

1971年よりバンクーバー音楽院ピアノ科主任教授を務めるとともに、ブリティッシュ・コロンビアの教授も務めた。1985年より北京音楽院など中国各地、またインド大学、バンフ芸術センター、オーベルリン音楽院、テキサス大学へ招かれた。

教育者として国際的に高く評価されており数々のマスタークラスを持っている。ポーランドのドゥシェニキ音楽祭、フランス・ノーアンのショパン音楽祭、モーニングサイド・ミュージック・ブリッジ、カナダのトロントサマーフェスティバル、オルフォード音楽祭に招かれるなど、オランダ、ポーランド、フランス、ベルギー、イタリア、日本、中国、アメリカやカナダで国際夏期セミナーやフェスティバルなどに招かれている。

国際ピアノコンクールの審査員としても活躍、カナダ人としては初めてショパン国際コンクール(ワルシャワ、1995年)に招かれる他、エリザベート王妃国際コンクール(ブリュッセル)他、ラフマニノフ(モスクワ)、中国国際(北京)、モントリオール(カナダ)、エスター・ホーネンス(カルガリー)、ジーナ・バックアウアー(ソルトレイク)、バデレフスキ(ポーランド)、ダブリン(アイルランド)、カサグランデ(イタリア)など数々の主要コンクールに招かれている。

2010-2011シーズンは、ヒューストンでショパン生誕200年記念レクチャー&マスタークラスに招かれたほか、韓国や日本、中国、またポーランドへツアーをおこなった。

5. 講義概要 :

1.	10:45～	千葉 いづみ (院1)	W.A.Mozart Piano Sonate kv.311 D-dur
2.	11:45～	櫻井 奈月 (院1)	L.v.Beethoven Fantasie op.77
3.	13:45～	伊石 有里 (院1)	B.Bartok Allegro barbaro suite op.14 Mikrokozmosz No.146 ostinato
4.	14:45～	乾 将万 (院2)	F.Liszt Piano Sonata S.178
5.	16:00～	佐藤 亜衣 (院2)	M.Ravel Valses nobles er sentimentales
6.	17:00～	澤田 奈津季 (院1)	R.Schumann Kreisleriana op.16 より 1,3,6,7,8
7.	18:00～	池田 佑香 (院1)	F.F.Chopin Scherzo No.2 b-moll op.31